

製品名: GM130 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86714**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:113 kDa; Observed MW:130 kDa

抗原情報

遺伝子名	GM130
別名	GM130
遺伝子ID	2801
SwissProt ID	Q08379
免疫原	ヒトGM130の合成ペプチド

背景

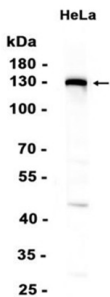
ゴルジ体は、分泌経路におけるタンパク質および脂質のグリコシル化と輸送に関与し、積み重ねられたシスターナ（扁平化した膜

囊)の連続体から構成されています。ゴルジ体と微小管との相互作用は、有糸分裂中に断片化されたゴルジ体の再構築に重要であると考えられています。この遺伝子は、ゴルジ体に局在するタンパク質ファミリーであるゴルジンの1つをコードしています。このタンパク質は、ゴルジ体シスターナの積み重ねと小胞輸送に関与していると考えられています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエントがいくつか報告されていますが、これらのバリエントの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2010年2月]

研究分野

-

画像データ



GM130 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。